

生体制御を軸とした癌治療

～個別化生体制御治療を目指して～

オプジーボをはじめとする免疫チェックポイント抗体の出現により、免疫治療が転移を伴う進行癌治療の標準治療の一角を占めるようになりましたが、まだ開発途上です。また、免疫治療のみならず、抗がん剤の治療効果も宿主免疫に依存することが報告されており、がんと免疫の関係に関する新たな知見も続々と見つかっています。近年ゲノム解析データを活用した免疫治療、腸内細菌叢・メタボロームが免疫治療に及ぼす影響も注目されており、免疫を軸とするがんの病態解明、治療の開発研究は勢いを増しています。今回のセミナーでは、免疫治療の歴史を振り返りながら、現在の癌治療における免疫治療の位置付け、さらには今後開発されるゲノム解析や腸内細菌解析結果を用いた個別化がん治療、個別化生体制御療法の可能性を紹介するとともに、臨床の最前線の先生方とその可能性に関してDiscussionをさせていただきたいと思っています。

聖路加国際病院 免疫・細胞治療科 部長

講師 **平家 勇司 先生**
(へいけ ゆうじ)

- S62.5 徳島大学医学部附属病院 第三内科 (S62.8 同・救急部)
- S63.9 癌研究会・癌化学療法センター基礎部・外来研究員
- H4.4 徳島大学医学部附属病院 医員 (第三内科)
- H4.11 国立がんセンター研究所 薬効試験部・研究員
- H8.4 同上・主任研究官
- H9.6 米国アラバマ大学 バーミングハム校遺伝子治療センター 客員教授
- H10.10 国立病院四国がんセンター 内科医師・臨床研究部研究官
- H11.8 国立病院四国がんセンター 内科医師・臨床研究部主任研究官
- H14.11 国立がんセンター研究所 薬効試験部・薬物療法部 主任研究官
- H18.4 国立がんセンター中央病院 薬物療法部遺伝子免疫療法室 医員
- H19.7 国立がんセンター中央病院 薬物療法部幹細胞移植療法室 医長
- H20.10 国立がんセンター中央病院 臨床試験・治療開発部 幹細胞移植療法室・医長
- H22.10 国立がんセンター中央病院 造血幹細胞移植療法室・医長
- H25.6 国立がん研究センター 早期探索・臨床研究センター 免疫療法開発分野 ユニット長
- H26.11 聖路加国際病院 免疫・細胞治療科 部長 (現在に至る)
- H27.6 聖路加国際病院 共同研究ラボラトリー 室長 (現在に至る)
- H29.4 聖路加国際大学公衆衛生大学院公衆衛生免疫学 教授 (現在に至る)



日時：2019年6月18日(火)18時～19時
場所：福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室
司会：柴田陽光 先生 (呼吸器内科学講座)

参加無料／事前登録不要

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
 - ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
 - ◆ 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。履修票を忘れずにお持ち下さい。
- 【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL:024-547-1095 E-MAIL: ganpro@fmu.ac.jp
【次回予定】 2019年7月2日(火) 18時～19時 / 福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室
(講師)東北大学病院 腫瘍内科 城田 英和(しろた ひでかず)先生